

『株式会社パワーゼニス』は、革新的なモノづくり産業を創出する機器開発のエキスパート企業です。

“EMS”(一貫生産受注サービス)を旗印に掲げるメーカーは世に数多く存在しますが、その実態を見ると実装や基板製造工程等の下流工程を主体とする企業がアピールしている単なる拡張戦略に過ぎない事が多い様です。

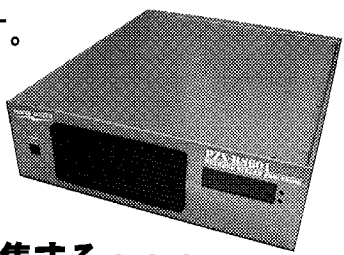
～《 開発意図すら理解できない外注先に設計を任せられますか? 》～

こと新製品を生み出そうとする場合には、この要素を軽視してのアウトソーシングなど初めからナンセンスです。また、未だ形になっていないアイデアをしっかりと一緒になって検討し、共に仕様書を紡ぎ出す姿勢こそが重要視されるべきではないでしょうか?

株式会社パワーゼニス、放送映像や音声等を扱う製品分野で多くの実績を持っています。用途や運用を知っているからこそ、製品についてより深く一緒に考える事が可能なのです。

我々の強みは技術的難易度の高い開発でも受託できる点にあります。実現性や構想が曖昧だと言う理由で他社に受託を断られた案件も、是非一度我々に御相談下さい。高い技術力を以ってお応えします。

如何にして具現化するか?・・・我々も一緒に考えさせて下さい。



皆様は無限の想像力を広げ・・・我々は究極の創造力を結集する・・・それが株式会社パワーゼニスの追い求める理想の姿です。

※※※ InterBEE2011国際放送機器展【ホール7/7308】に出展中 ※※※

藤沢事業所: 〒251-0021 神奈川県藤沢市鶴沼神明2-1-2

神明商事ビル3階

TEL:0466-55-4835 FAX:0466-55-4837

http://www.powerz.co.jp/

E-Mail:Sales@powerz.co.jp

Power Zenith Inc.
Multimedia Technology at the Zenith of Zealous Powers!

パワーゼニス

パワーゼニスは今年で創業10周年を迎えた研究開発型の企業であり、各社向けの受託開発をワンストップ対応で提供している。小型操作卓やスイッチャーなどのスタジオ機器のほか、ソフトウェアの単体開発、IP伝送装置の開発、システム構築などの多岐にわたる実績を持ち、一部では独自開発製品を含めた提案も行っている。

同社は「システム設計に際し、既に世の中にある製品を前提にすべてを組み立てるのではなく、まず運用の形を考え、本当に必要な製品の形を考えること」をポリシーとして掲げており、常に型にとらわれない製品を企画開発することを重視している。

展示ブースでは自社製品を中心としたシステム例を展示しているが、会期中は随時あらゆる分野の開発相談に応じており、漠然とした構想段階の案件でも積極的に対応する。

ミハル通信

ミハル通信は、館内デジタル自主放送システムMRシリーズ、家庭用光ファイバー通信回線FTTHソリューション、新型光ファイバー同軸ハイブリッド(HFC)機器「Nシリーズ」を展示する。

「MRシリーズ」は5機種ラインアップを実際にデモ展示しながら館内向け映像配信ソリューションを提案する。FTTHソリューションでは、ケーブルテレビ事業者向けに、既存HFCシステムからFTTHへ費用を抑えながら段階的に移行できるシステムを提案する。HFC改修用に提案する「Nシリーズ」は低消費電力により大幅なランニングコストの削減を可能にし、従来のフライングを使わずに完全自動調整を実現する新しいHFCシステム機器である。さらに、放送局向け緊急バックアップ装置「日本テレビと共同開発したチャンネルチェッカー」(見張るチャンネル)も展示する。

出展企業の技術・製品

〈順不同〉



チュートリアル・セッションを開設。17、18の両日は、チュートリアル・セッションを開設する(企画はJES A)。

同セッションは放送、映像・音響業界で働く若手や、これらの分野に興味を持つという大学、専門学校、学生などを対象に、人材育成を目的とする企画だ。それぞれ音響セッション(17日)と映像セッション(18日)に分かれており、(18日)に分かれており、音響セッションでは、マイククロフオン原理と応用、P/Aにおける最新デジタル技術の応用とテクニックの二つを開講映い。

映像セッションでは、MXFフォーマットの基礎と応用と、トランスコード技術の基礎と応用、が受講できる。セッション3000円(セッション3000円)の受講料が各講座ごとにかかるが、第一線で活躍する人を講師に迎えた実践に近い講座内容は未来のメディアを支える若手による刺激になるだろう。

毎年放送業界に携わる企業が多数集まる専門展示会。その活気から伝わるのは、常に進歩を続けるメディアの可能性と変革の早さ。会場へ足を運んで、大きなビジネスチャンスをつかむ絶好の機会にしてほしい。

2011 国際放送機器展

Inter BEE 2011 (2011国際放送機器展)が16日(水)から18日(金)までの3日間、千葉市美浜区の幕張メッセで開催される。会期中は多数のイベントが用意されており、「音と映像と通信のプロフェッショナル展」として今年も

大勢の来場者が見込まれる。主催は電子情報技術産業協会(JEITA)で、運営は日本エレクトロニクスショー協会(JESA)。入場無料(登録制)。開場は10時から17時半(最終日は17時まで)。

Inter BEE 2011

International Broadcast Equipment Exhibition

11.16水》18金 幕張メッセ

きょう開幕

1964年に12社で始まった放送機器展は、名称を変えながら今年で47回目を迎えた。今回、国内外からの出展社数が800社を越す国際展示会へと成長した。来場者も毎年3万人を超え、米国のNAB、欧州のIBCに並ぶ放送機器分野の専門展示会として注目を集めている。

放送業界にとって、今年は大きな転機を2回迎えた。一つは7月に完全移行したデジタル放送だ。放送と通信が新たに融合して視聴者にどのようなサービスが提供されるのか。高画質の臨場感、データ放送、インターネットに接続することで実現する番組への直接参加。放送機器とソリューションの可能性が一層広がると、視聴者へのサービスとしての各放送システムを展示する。

二つ目は、多彩な

4部門に分けて展示

三つ目は「エンタテインメントの魅力を引き出す舞台・演出照明にスポットを当て、さらに幅を広げるプロライティング部門」。



プロライティング部門は、クロスマディア部門だ。台頭するスマートフォン(多機能携帯電話)やモバイル、最新テレビとして注目の3Dテレビなどを網羅した内容だ。

立上げた部門「IPネットワークプロトコル(インターネット、TV、Mobile)」。デジタルシネマ、デジタルサイネージ、3D映像、デジタルコンテンツなど、新しい産業分野へのア

好評! 日刊工業新聞社の本

よくわかる

デジタルテレビの基本動作と仕組み

よくわかる

デジタルテレビの基本動作と仕組み

相良岩男



相良岩男〔著〕 ●A5判 ●定価2310円(税込)

デジタル電子機器開発を担当する電子回路設計者や、これから電子回路を学ぼうとする学生など初心技術者に対して、デジタルテレビがどのような回路、部品で構成されているかを基礎的なデジタル技術とともに解説した本。

◆目次

- 第1章 アナログテレビからデジタルテレビへ
- 第2章 デジタルテレビは視覚・聴覚を巧みに利用
- 第3章 アナログテレビとデジタルテレビに共通な基本的動作
- 第4章 デジタルテレビの基本回路構成
- 第5章 デジタルテレビの核となる技術A/D・D/A変換
- 第6章 デジタルテレビの核となる技術OFDM変調
- 第7章 デジタルテレビの核となる信号の多重化
- 第8章 デジタルテレビの核となる誤り訂正
- 第9章 デジタルテレビの基本回路構成(地上波デジタル放送を中心に)
- 第10章 デジタルテレビの新しい展開

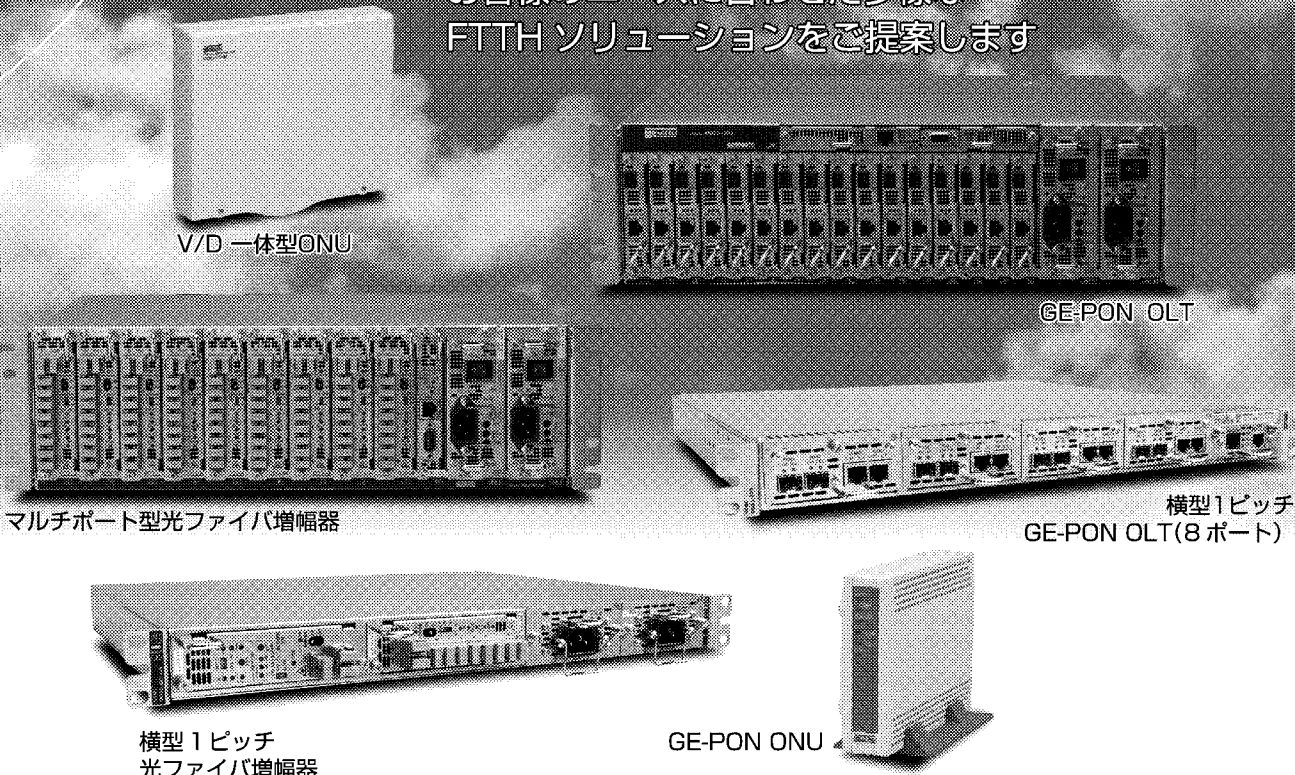
未来を届けるテクノロジー

Fiber To The Home

MIHARU

FTTHソリューション

お客様のニーズに合わせた多様なFTTHソリューションをご提案します



Inter BEE 2011 に出展いたします。会期: 11月16日(水)~18日(金) 会場: 幕張メッセ ホール6 6403

三井通信株式会社

本社 〒247-8538 神奈川県鎌倉市岩瀬 1285

TEL:0467(44)9111(代)

東京 大阪 仙台 広島 福岡

http://www.miharu.co.jp

日刊工業新聞社 出版局販売・管理部

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 TEL03(5644)7410

http://pub.nikkan.co.jp/ FAX03(5644)7400